

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 196

所管部局	日吉支所	所管課	健康福祉課	担当者名	野口 武司
事業名	地域交流活性化支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	興風交流センター地域交流活性化支援事業			政策体系	411
会計	一般会計	科目	3. 民生 - 1. 社会 - 2. 地域		

## 1. 事業の概要

人権課題早期解決のために住民交流をはかる各種講座開設事業

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上を図り、生活上の課題やさまざまな人権課題の解決に資するために講座の開設事業を実施する。

### ②事業を実施する必要性

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上のため各種講座を開設し、そして受講生の交流により人権課題の早期解決を目指すための各種講座開設事業で、人権課題早期解決のためには必要な事業である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,238	2,102	1,184	1,752	1,417	2,172	1,383
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	295	333	323	323
	国・府支出金	千円	0	0	443	708	546	924
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,238	2,102	446	711	548	925
職員等の従事人員	人/年	—	—	1.00	1.37			
人件費	千円	—	—	2,847	4,415			
事業費総額	千円	—	—	4,031	6,167			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

報償費 講師謝礼	929,682円
需用費 消耗品 教室材料代	472,451円
使用料及び賃借料 映画フィルム等借上げ料	315,000円

## 5. 事業結果の概要

住民交流を通して広く相互理解が深まった。
人権文化の集い 約200人の参加
大正琴教室 受講生12人 26回実施
生花教室 受講生10人 24回実施
親子交流映画会 約60人の参加
ふれあい会（三世代交流事業）30人参加
寄せ植え教室 参加者20人
児童交流事業 5回実施延べ参加者 320人

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1)		
文化スポーツ交流事業(大正琴教室)	月2回火曜日(平成21年4月～平成22年3月)	生活に潤いと安らぎを求め住民交流と地域文化の向上が図れた。
文化スポーツ交流事業(生花教室)	月2回水曜日(平成21年4月～平成22年3月)	生活に潤いと安らぎを求め住民交流と地域文化の向上が図れた。
文化スポーツ交流事業(親子交流映画会)豚がいた教室の鑑賞、交流会	平成21年8月28日(金)	地域住民との交流と親子の絆がいっそう強く感じられた一日だった
文化スポーツ交流事業(興風人権文化のつどい)	平成22年2月27日(土)、28日(日)	落語家 三代目 林家染二氏による、人権講演会
文化スポーツ交流事業(寄せ植え教室)	平成22年3月13日(土)	生活に潤いと安らぎを求め住民交流と地域文化の向上が図れた。
文化スポーツ交流事業(ふれあい会)	平成21年10月24日(土)	住民の交流を通じて、住民の相互理解が深められた。
児童交流事業(手作り教室)樹脂粘土でペンたての製作	平成21年6月28日(日)	児童の交流を図り、相互の理解が深められた。
児童交流事業(子どもディキャンプ)	平成21年7月19日(日)	児童の交流を図り、相互の理解が深められた。
児童交流事業(夕涼み会)	平成21年8月22日(土)	児童の交流を図り、相互の理解が深められた。
児童交流事業(クッキングとおはなし会)	平成21年11月8日(日)	児童の交流を図り、相互の理解が深められた。
児童交流事業(クリスマス会)	平成21年12月20日(日)	季節の行事を楽しみながら、児童の交流を図り、相互の理解が深められた。

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

人権課題の早期解決のため、地域及び周辺地域住民の交流を図るとともに、社会的、文化的向上をはかる重要な事業である。引き続き幅広く受講生の増加を目指す。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
講座の新たな参加者確保のための広報方法について論議した。
- ②当該事業のアピール事項  
人権課題の早期解決のため、地域及び周辺地域住民の交流を図るとともに、社会的、文化的向上をはかる重要な事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
幅広い受講生の確保を図り、人権問題の早期解決を図る。